

ていきたいとの趣旨から開催されました。

設立に尽力し精力的に活動を始めておられた初代会長の山里八重子さんの人となり等について、当時から取材を通して関わってこられた山城紀子さん(フリージャーナリスト)にお話ししていただき、それらを受けて、棚原信子さん(社会福祉法人からし種の会・理事長)、高橋年男理事(沖福連・前事務局長)、そして山里八重子さんを知る数少ない職員の島和也さん(沖縄市基幹相談支援センター所長)、岡野真由美さん(支援センターおきなわ職員)、その他の職員を交えての分かち合いは大いに盛り上がりました。

職員だけの共有ではもったいないので、家族会でも話を伝えていきたいと思っています。事務局に連絡いただければ、録画したものを提供します。ご活用ください。

ところで、映画「夜明け前のうた」については大勢の方にご鑑賞いただきましたが、残念なことに文化庁が上映を延期(実質中止)し、いくつかの自治体でそれに倣う状態になっています。

閉じ込められた本人はもちろん家族の誰も責められることはありません。本人と家族の名誉回復のためにも国策で私宅監置をせざるを得なかった当時の状況を検証しなければなりません。自主上映の申し込みについて問い合わせも増えてきています。さらに多くの方に観ていただきたいと願っています。

新年が関係の皆様とご家族にとって豊かに祝福された一年でありますよう祈念いたします。

